中野キャンパス　〒298-0271 千葉県夷隅郡大多喜町中野 589　TEL:0470-830830　FAX:0470-64-6350

Building Character

三育学院中学校

２０２２年３月号

『失望に終わらない希望』

3/9　３年生　日の出ツアー　勝浦　官軍塚にて

数年前、わたしは、ネパールのカトマンズに行く機会がありました。日本と比較すると物質的には明らかに貧しく、大きな違いを感じる状況がそこにはありました。一般的には、発展途上と言われる状況です。しかし、そこには十分な物がなくても明らかに元気に笑って生きぬいている姿がありました。「生きぬく力」という視点で見たときに、私たちの国は、目に見える豊かさと引き換えにその力を失ってきているという事を実感しました。私たちはコロナ禍での生活を通して改めて生かされているということ、健康であるということの尊さを実感してきました。会いたい人に会える、行きたい場所に行けるということのありがたさという事についても考えることが多くありました。しかし、２年が経とうとする今、私たちの中には、この異常な状態に対してあきらめてしまっているかのように感じることがあるのです。やらなくてはならないことはまだまだあるにもかかわらず、時折、自分の感覚がマヒしている事に気づいて情けなくなることがあります。

エミール・ブルンナーという神学者は言います。「希望が人間実存に対して持っている意味は、酸素が肺に対して持っている意味に較べられる。酸素を取り去ってしまえば、人間には窒息死と云う事態が起こる。それと同じように人間から希望を取り去れば、人間は絶望と云う呼吸困難や、人生は空しく無意味だと云う気持ちから生じてくる、心的・精神的衰弱と云う、心のマヒ状態・或いは虚無の状態に陥る。酸素の供給が有機体としての人間の生命に是非必要である如く、希望の供給が人間の運命を決定する。」（「永遠」より）

人は、自力だけではすぐに酸欠状態に陥ってしまうのです。わたしたちは、この不確かな時代に、何により頼んで生きていくべきなのでしょうか。

卒業をこの週末に控えた三育学院中学校第 2 回卒業生 21 名には、これからどのようなことが起こったとしても、三育学院で感じ、体験したこの本当の希望、失望に終わることのない希望により頼む人生を歩んでほしいと心から願っています。ご卒業おめでとうございます。

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。
その中で最も大いなるものは、愛である。
（コリントの信徒への手紙Ｉ　１３章１３節）

≪お知らせ≫　セブンスデー・アドベンチスト教会の名誉牧師である渡部義和・尚子ご夫妻が、この度、三育教育支援のために「P.T.L. Extra」という CD を自費作成してくださり、全国の三育の学校の全ご家庭にプレゼントしてくださいましたので、本日お届けいたします。この企画では、募金を集め、その 9 割はそれぞれの学校への寄付となることとなっております。つきましては、帰省日や帰寮日等に募金箱を置かせていただきますのでご協力いただけましたら感謝です。

久我原キャンパス　〒298-0297 千葉県夷隅郡大多喜町久我原 1500　TEL:0470-84-0111　FAX:0470-84-0076